

Visible Body® の使い方

AGU Lib
2025.7



ビジュアル ボディ Visible Body® とは？

人体の解剖学や生理学を 3D モデルで学べる教育用ソフトウェアシリーズです。医学部や看護学校、リハビリテーション系学科などで導入されており、立体的な人体モデルを操作しながら学ぶことができます。

🔍 主な特徴

- ✓ 3D 人体モデル … 骨・筋肉・臓器・神経などが立体表示され、ズーム・回転・分解が可能です。
- ✓ アニメーション … 生理機能や運動機構を動画で解説します。
- ✓ クイズ機能付き … 知識の習熟度を確認することができます。



ビジュアル ボディ Visible Body® で利用できるツール

本学では 2 つの製品ツールを利用することができます。(2025 年 4 月時点)



ヒューマン アナトミー アトラス Human Anatomy Atlas

全身の解剖学モデルを収録し、骨・筋肉・臓器・神経・血管など主要な体の構造を詳細に検索・表示できます。3D 回転や透明化することもできます。主に「構造(形)」を人体部位のモデルで詳しく見るツールです。



アナトミー & ファイジオロジー Anatomy & Physiology

人体のしくみを総合的に学ぶための教材です。解剖学(Anatomy=体の構造)と、生理学(Physiology=体の働き・仕組み)の、両方をサポートします。3D 映像やアニメーションで「構造+機能(しくみ)」を体系的に学習できるツールです



アクセス方法

大学図書館のホームページから「Visible Body®」を選択します。【学内回線からアクセスしてください】

- 🔍 利用するツールは「Human Anatomy Atlas」または「Anatomy & Physiology」から選択します。

愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

蔵書検索 | 電子ジャーナルデータベース | オンラインサービス

MyLibrary にログイン

データベース

データベース一覧

動画・ソフトウェア

Visible Body® : Anatomy & Physiology, Human Anatomy Atlas

Human Anatomy Atlas 2021

Anatomy & Physiology

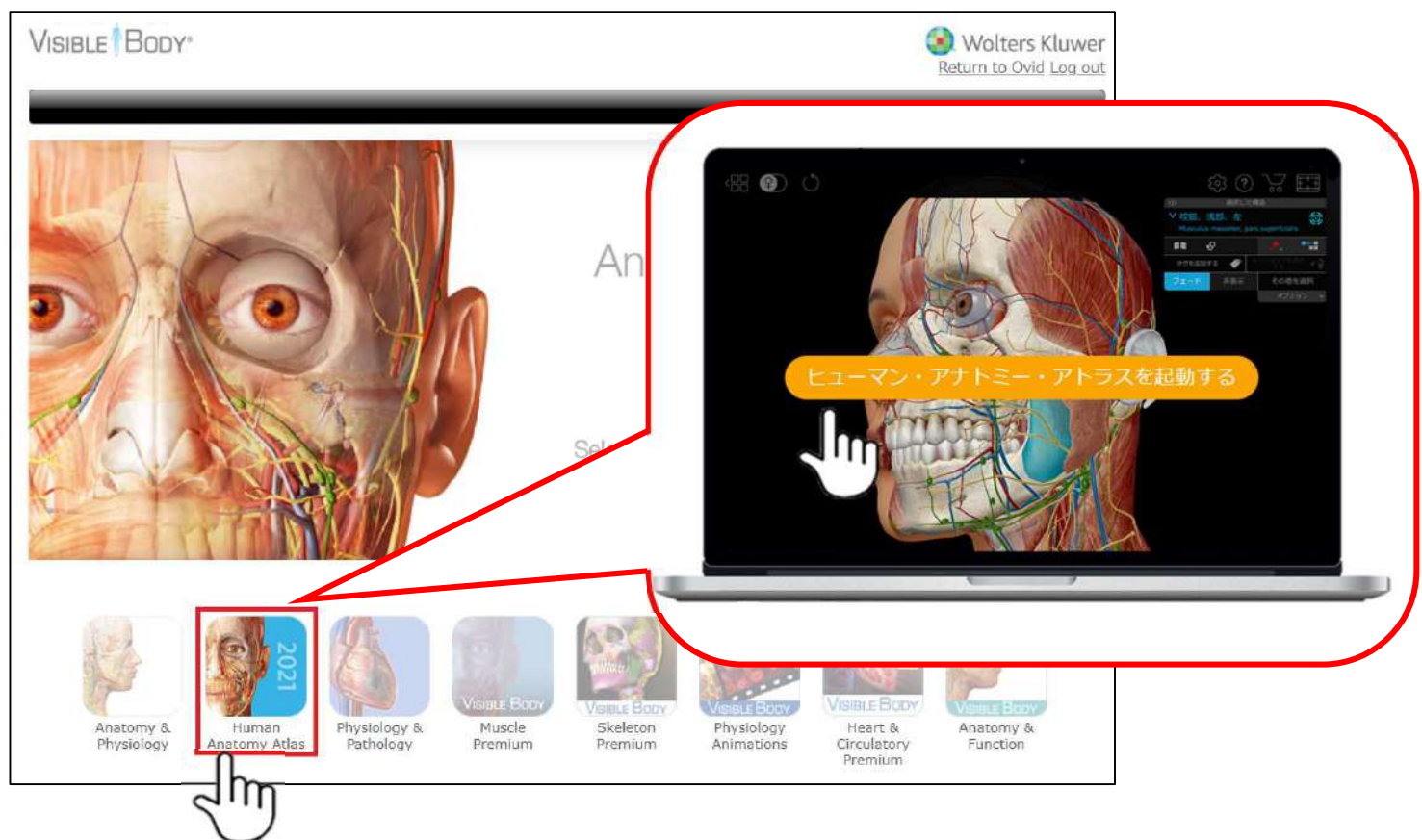
Visible Body on Ovid

※2025.03 モバイルアプリの提供終了

「Visible Body®」は図書館 HP のトップ画面からも選択できます

(ここでは「Human Anatomy Atlas 2021」について説明します。)

- ① 「Human Anatomy Atlas 2021」を選択し、起動させます。



- ② 起動したトップ画面では、上部メニューが表示されている状態です。

🔍 上部メニューは「表示」「メディア」「クイズ」「マイライブラリ」のタブがあります。

表示

メディア

クイズ

マイライブラリ

1 領域

2 系

3 肉眼的解剖学ラボ

4 断面 (S)

5 ミクロ解剖学

6 筋肉の動き

表示: 観察したい解剖学的構造を分類から選び、画面に表示させることができます。

① 領域 → 頭頸部・胸部・腹部・骨盤など、人体を大きな「部位」で分けて表示します。
例: 腹部の臓器を確認するために「腹部」領域のみ表示など、特定の領域に集中して学習したい時に便利です。

② 系 → 骨格系・循環器系・神経系・消化器系など、人体を「系統」で表示します。
例: 骨格系だけを表示して骨のつながりを確認するなど、解剖学の系統別に整理して学ぶ時に便利です。

③ 肉眼的解剖学ラボ → 実際の解剖実習で使うような肉眼標本を表示します。
例: 心臓の 3D モデルを表示して、外観や内部構造を確認することで、肉眼解剖のイメージをつかむことができます。

④ 断面 → 頭部・胸部・腹部などの身体をスライスした断面図を表示します。
例: 脳の水平断や胸部の前額断などを観察することで、CT や MRI 画像と同様の断面構造を視覚的に理解できます。

⑤ ミクロ解剖学 → 組織や器官の微細構造(例: 歯、舌、神経など)を立体的に表示します。
例: 23. 歯科解剖学では、歯の内部構造や周辺の組織を立体的に観察できます。

⑥ 筋肉の動き → 特定の筋肉がどのように収縮・弛緩して関節を動かすかを、アニメーションで確認できます。
例: 下顎の挙上を選択すると、咀嚼運動(開口・閉口)がアニメーションで表示されます。


表示


メディア


クイズ


マイライブラリ


1 患者教育用アニメーション


2 高度なアニメーション

 クイズ: 部位当てなどの確認問題で理解度をチェックします。

 マイライブラリ: 保存したビューはここにお気に入りとして登録されます。

 **メディア: 動画やアニメーションで視覚的に学べます。**

1 患者教育用アニメーション

体のしくみや病気をやさしい言葉と映像でわかりやすく説明します。

骨や筋肉、呼吸や循環、消化や排泄の働きから、主な病気の原因や治療までカバーしています。

例: 腎臓結石の基礎説明など

2 高度なアニメーション

筋骨格系の筋肉の動きや神経障害、呼吸器系の肺の働きと呼吸の病気、泌尿器系の腎臓の機能と腎疾患を詳しくリアルに示し、理解を深めます。

例: 細胞内シグナル伝達のメカニズム。血液循環の詳細な動態。神経伝達物質の放出と受容体反応。


メニュー

③  メニューボタンを押すとメイン画面が表示されます。  機能の一部を解説します


表示


戻る


リセット


リンク


設定


ヘルプ


拡大縮小

すべての部位


全身


骨格系


筋肉系


靱帯系


消化器系


動脈系


生殖器系


静脈系


リンパ系


呼吸器系


内分泌系


神経系


皮膚系

構造群 (=系) を個別に表示します。

 複数の系を重ねて表示することも可能です。

 活用例: 動脈 + 静脈 + リンパ

 +  + 

→ 循環系の学習や比較に便利!

 モデルの性別は **設定** ボタンで切り替えします。

設定 完了

- 背景: 白 >
- モデル: 
- 字幕: 
- 高画質: 
- フォントサイズ: 小 >
- 言語: 日本語 >
- 白紙のタグ: 
- コントロール: >
- バージョン: 2021.2.40

画面内のモデルを操作します。

 3つのボタンで操作します。
(=マウスでも同じ動作が行えます)

- 中央ボタン** = マウス左クリック
ドラッグ操作で上下・左右に回転
- 矢印ボタン** = マウス右クリック
上下・左右に移動
- ズームボタン** = マウスホイール
拡大または縮小

ジョイスティック ×


1


2


3

<解剖学的構造の検索> 人体の構造を名称で検索して選択・追加・表示します

検索に応じた候補リストから **追加 +** ボタンを押して選択するとモデル上に構造が追加されます。

表示する → ボタンまたは画面右下の  ビューに追加されました。 | **表示する** を選択するとハイライト表示します。

<解剖> 特定の構造を取り除く(剥がす)ことができます。

本物の解剖を行うように、表層の筋肉・骨・臓器などを1つずつ除去して、奥の構造を学習することができます。

取り除いた構造は画面右上の  **取り消し** ボタンで復元可能です。

臨床につながる検索をマスターしよう！①

下^{かしそうしんけい}歯槽神経の走行を見てみよう

- ☑ 神経が下顎骨内を通る様子を 3D で確認して立体的に理解できる！！
- ☑ 検索ワード：「下^{かしそうしんけい}歯槽神経」・「下^{かがく}顎」・「下^{かがくこう}顎孔」

1 スタート画面では「すべての領域(デフォルト)」が表示されているため、「骨格系」・「靱帯」をクリックして非表示にし、表示エリアを白紙の状態にします。その後、必要な構造だけを表示させて観察します。

2 下^{かしそうしんけい}歯槽神経・・・水色の部分
関連する構造(神経)・・・黄色の部分
下顎・下顎孔・・・骨格系
が表示されました。

3 選択した構造物は青色で表示され、その影響範囲を確認できます。下^{かしそうしんけい}歯槽神経を選択して青色にした後、「影響範囲」ボタンを押すと、関連する構造が順にハイライト表示されます。機能的・解剖学的なつながりを視覚的に理解しましょう。

ジョイスティックまたはマウスを使って、立体的に操作・観察してみよう!!

解剖学的構造の検索

メニュー

解剖学的構造の検索

CN5 (V) 下^{かしそうしんけい}歯槽神経、左がビューに追加されました。

表示する

2

解剖学的構造の検索から表示したい構造を検索して画面に表示させます。

- ☑ 検索ワード：「下^{かしそうしんけい}歯槽神経」
「CN5(V)下^{かしそうしんけい}歯槽神経、左」追加 + ボタン → 表示する ボタンを押して表示
- ☑ 検索ワード：「下^{かがく}顎」
フィルタボタンから 骨格系を選択 → 「下^{かがく}顎骨、下^{かがくこう}顎孔、左」を追加して表示

解剖学的構造の検索

下^{かしそうしんけい}歯槽神経

フィルタ

下^{かしそうしんけい}歯槽神経、右
Nervus alveolaris inferior

追加 +

下^{かしそうしんけい}歯槽神経、左
Nervus alveolaris inferior

追加 +

解剖学的構造の検索

下顎

フィルタ

下顎
Mandibula

追加 +

下顎骨、下顎孔、右
Foramen mandibulae

追加 +

下顎骨、下顎孔、左
Foramen mandibulae

追加 +

🔍 臨床につながる検索をマスターしよう！②

🦷 ブラッシング指導に活用してみよう

- ☑ 歯と歯ぐきを 3D や動画で確認して歯周ポケットを見てみよう！！
- ☑ 検索ワード：「歯」・「歯肉」

2

歯周ポケットや歯肉との境界を立体的に確認できます。
噛み合わせも確認したい・・・

1

「歯」と「歯肉」それぞれを検索して画面に表示させます。

解剖学的構造の検索

解剖学的構造の
検索

3

選択した構造に関する画像や動画が表示されるので、動画を選択します。

4

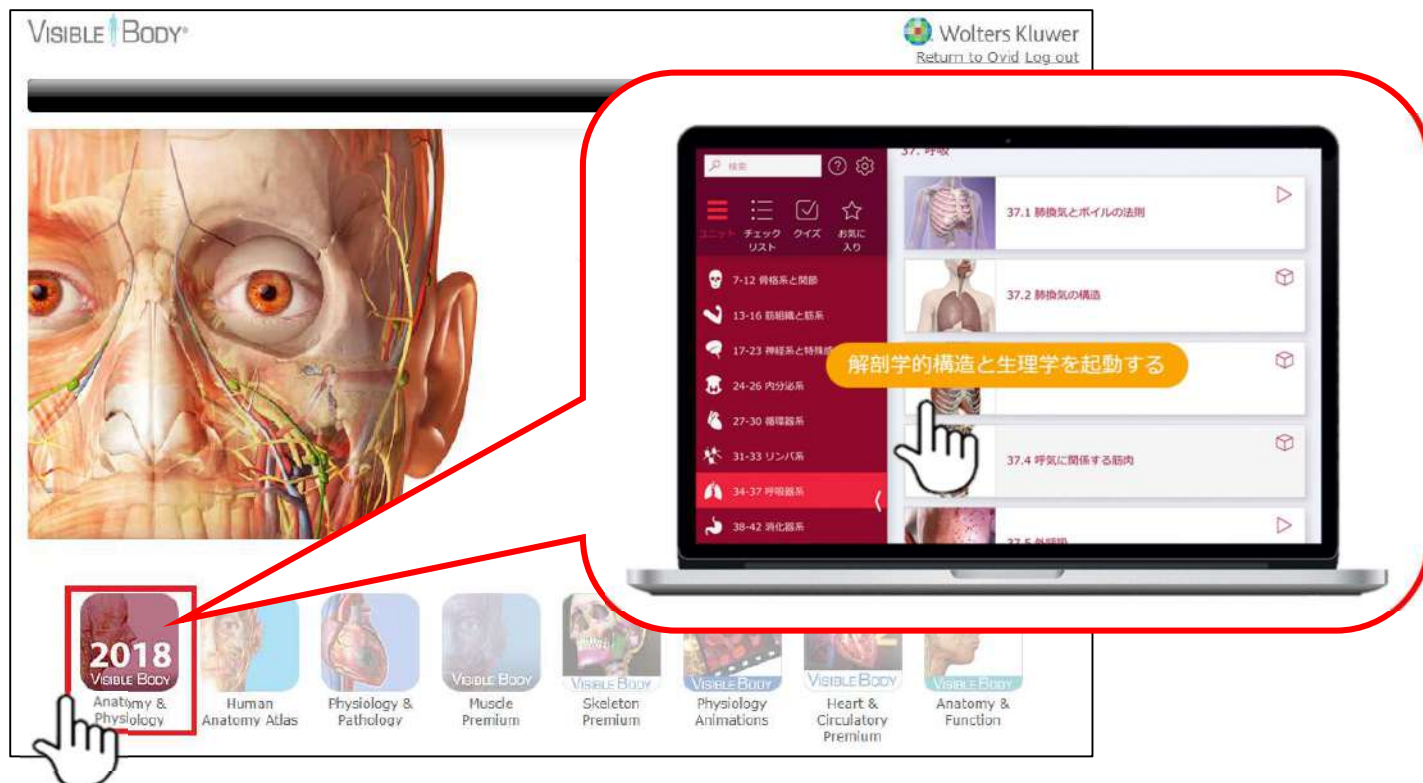


上顎弓と下顎弓の動画が表示されました。

5

一時停止中にマウスやジョイスティックで角度を変えて立体的に観察することができます。

① 「Anatomy&Physiology 2018」を選択し、起動させます。



② 起動後、メインメニュー画面には、ユニット（学習単位）の一覧が表示されます。上部のタブで「ユニット」「チェックリスト」「クイズ」を切り替えることができ、目的に応じた学習方法を選択できます。

Anatomy & Physiology
解剖学と生理学を、人体の系統ごとに分けて学ぶ単位一覧です
 人体の系統ごとに、50 の学習単位(ユニット)が構成されており、それぞれに 3D モデルやアニメーションなどのマルチメディア教材が含まれています

- ▶ アニメーション動画：生理学的な仕組みを視覚的に理解できます。
- ◻ 3D 解剖モデル：ジョイスティックやマウス操作で回転や拡大・縮小が可能です。
- ◻ スライド式の解説：図表とテキストがセットになった解説ページです。

各ユニットで学ぶ内容の要点をまとめた確認リストです。
 各ユニットの重要ポイントが簡潔にまとめられており、学習のガイドや復習の目安として活用できます。
 → 内容はユニットと同一で、理解度の確認や学習内容の整理に役立ちます。

各ユニットの内容に対応したクイズ形式の確認問題です
 理解度を確認するクイズです。正解・不正解はその場で表示されるため、復習に役立ちます。文章形式と 3D モデルを使った視覚的な出題の 2 種類があります。

- ① 多肢選択形式：文章による設問に対して選択肢から正解を選ぶ形式です。
- ② 局所解剖クイズ：3D モデルを用いたビジュアル形式です。
 該当する解剖構造を画面上で選択します。

🔍 臨床につながる検索をマスターしよう！

🦷 ユニット 39. 口腔

- ☑ 口腔の構造から咀嚼・嚥下、歯や舌、唾液腺までを系統的に学べる内容です。
- ☑ 基礎理解から臨床応用まで役立つ項目をピックアップして解説します。

検索

メニュー

チェックリスト

クイズ

38-42 消化器系

38. 序論：消化器系

39. 口腔

40. 食道と胃

41. 消化の副器官

42. 小腸と大腸

39.2 口腔：主要な口腔構造を探して識別する

口腔の主要構造である歯、舌、硬口蓋・軟口蓋を 3D で把握し、解剖学実習や器具操作、スケーリングの基礎理解に役立てられます。

39.5 歯：上・下歯列弓を探して識別する

32 本の永久歯が上下歯列弓に並び、咀嚼で食物をすり潰します。咬合や矯正の基礎学習に 3D で形状を確認し理解を深められます。

39.8 歯の横断面：歯のパーツを識別する

歯は歯冠・歯根・象牙質・歯髄など複雑な構造を持ち、咀嚼や感覚に関与します。3D モデルでこれらの構造や位置関係を視覚的に確認でき、保存修復・歯内療法・スケーリングの理解に役立ちます。

39.12 咀嚼の筋肉：咀嚼筋を探して識別する

咀嚼に関わる筋の位置と働きを 3D で視覚的に確認でき、顎関節症や口腔機能発達支援の基礎理解、実習前の予習に役立ちます。

39.13 喉頭蓋と喉頭：喉頭蓋を識別し、嚥下中の機能について説明する

嚥下時、喉頭蓋が気道を閉じて食塊が食道へ進む仕組みを、3D 動画で視覚的に学べます。誤嚥防止の理解に役立ち、摂食・嚥下リハや高齢者・嚥下障害患者のケアに必要な知識としても活用できます。

💊 ユニット 22. 体性神経系と自律神経系

- ☑ 体性神経系は随意運動を、自律神経系は内臓の不随意活動を制御する神経系です。
- ☑ 解剖学や薬理作用の理解に不可欠な基本知識です。

検索

メニュー

チェックリスト

クイズ

17-23 神経系と特殊感覚

17. 序論：神経系／特殊感覚

18. 神経組織

19. 脊髄と脊髄神経

20. 脳

21. 脳神経

22. 体性神経系と自律神経系

23. 特殊感覚

22.9 自律神経機能：体性神経系と自律神経系の機能について説明する。

自律神経系は、心拍数・呼吸・消化・腺分泌などの不随意的内臓活動を調節し、視床下部や脳幹がその中枢として機能します。日常の生理活動やストレス時の反応(闘争・逃走)も制御しています。

22.11 交感神経系の神経機能：交感神経系の役割について説明する。

交感神経系は脊髄の胸腰部から始まり、活動時に心拍数を増加させ、気道や瞳孔を拡張させる一方、消化を抑制します。ストレス時の「闘争・逃走反応」を担い、汗腺分泌も促進します。

22.13 副交感神経の神経機能：副交感神経系の役割について説明する。

副交感神経系は脳幹と仙髄に由来し、安静時に活性化します。消化や排泄などの生命維持に関わる働きを促進し、心拍数の減少や気道の収縮を通じて体を休息状態に導きます。

39.2 口腔

口腔の主要な構造には、歯、舌および硬口蓋と軟口蓋があります。

歯 例：ここでは「歯」を選択します。

舌

硬口蓋

軟口蓋

歯 クリックすると、選択している構造が属する分類階層(ツリー構造)が表示されます。系統的な位置づけが確認できます。

舌 クリックすると、選択している構造の詳細な説明文が表示されます。

永久歯は、上顎骨の上顎および下顎骨に埋め込まれた32本の骨性構造です。歯は、歯槽に直立します。歯列は、上顎歯列弓および下顎歯列弓と呼ばれる弧を形成します。それぞれの歯は、3つの部分からなります。歯冠は、歯根から突出した部分で、歯冠の下の部分には歯根があります。歯根は、歯槽と呼ばれる顎骨の腔内にあるくぼみにしっかりと埋め込まれています。歯冠と歯根の部分の間の狭い部分に当たる歯頸の3つです。歯頸は、歯槽と呼ばれる顎骨の腔内にあるくぼみにしっかりと埋め込まれています。このように歯は、骨に打ち込まれており、歯肉に至るまで歯を覆っています。それぞれの歯冠内およびそれぞれの歯根の中心には、歯髄腔と呼ばれる空間があります。この空間には、血管および神経が豊富に供給されている歯性結合組織である歯髄があり、それぞれの歯根で小さな開口部を通して、空間に入ります。

ジョイスティックまたはマウスを使って、立体的に操作・観察してみよう!!

画面内のモデルを操作します。ジョイスティックはトップ画面左上の「設定」アイコンから「ジョイスティックを表示」に✓を入れることで、表示されます。

① 中央ボタン = マウス左クリック
ドラッグ操作で上下・左右に回転

② 矢印ボタン = マウス右クリック
上下・左右に移動

③ ズームボタン = マウスホイール
拡大または縮小

ジョイスティック

① ② ③

選択した構造は水色で表示されます。
表示をコントロールする場合は「フェード」または「非表示」機能を使います。

- ☒ フェード → 選択した構造を半透明にして表示します。
- ☒ 非表示 → 選択した構造を画面上から消します。
- ☒ 他をフェード → 選択した構造「以外」をすべて半透明にします。
- ☒ 他を非表示 → 選択した構造「以外」をすべて非表示にします。

フェード 非表示 他をフェード 他を非表示

🔍 クイズ機能を使って学習しよう！ 例：39.b 口腔の局所解剖

39.b 口腔の局所解剖

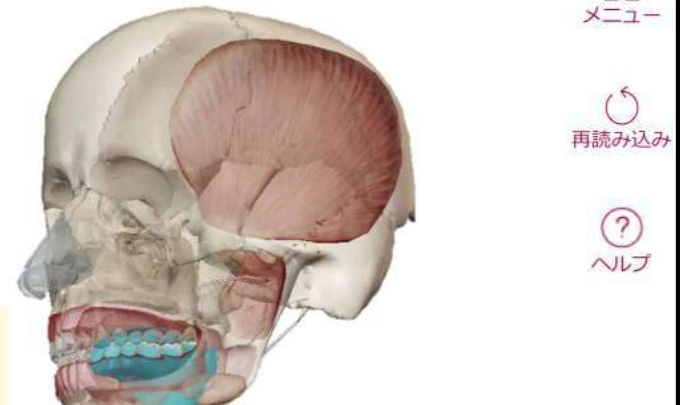
14中1 門

1. 舌を選択する。

送信 構造を選択して送信ボタンを押します。選択した構造は水色で表示されます。

フェード 非表示 表示 他を 他を 非表示

フェードまたは非表示ボタンを使うと、不要な部分を薄くした隠したりできます。複雑な構造の中から正解を見つけやすくします。



ジョイスティックまたはマウスを使うと、構造物を立体的に操作でき、裏側の部位も確認可能です。視点を自在に変えながら、周囲との位置関係も把握でき、正確な選択に役立ちます。

ジョイスティック